

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	医療法人社団岡田会 発達・教育支援センターアミークス		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 15日		R8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	500	(回答者数) 327
○従業者評価実施期間	R8年 2月 15日		R8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員が全員専門的資格保持者の為個々に合った支援を実施することができる。	多職種の意見交換や勉強会を実施し各職種での評価の仕方などを多職種も学ぶことができるように実施している。	今後も定期的に勉強会を行いお互いの知識向上を目指していく。また外部からも指導の先生を引き続き呼ぶことで知識向上につなげていく。
2	1対1での個別療育の為個々に合った支援を実施することができる。	集団での聞き取りにくさを抱える子どもさんも多いため自分自身でしっかりと考え定着するための支援を進めることができる。	1対1での支援をメインに実施するが様子を見ながら複数人での支援を実施し学校生活の中でも対応できる力をつけていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	0歳～18歳まで在籍している為(1クール等での終了がない)夕方の空き時間がなく新規の方が来られてもキャンセル待ちでしかお受けすることができない。	クール制ではない為退所されるか、職員の増員でしか対処法がない。	職員の増員やグループへの移行も視野に考えていく。
2	個別だけの評価となってしまう。	個別支援を希望される方が大半となるため、中々グループへの意向が進まない。	保護者の方にグループでの参加を納得いくように説明を行い実施していく。
3			